



# 大阪府議会における二酸化炭素排出量の見える化と取組みについて

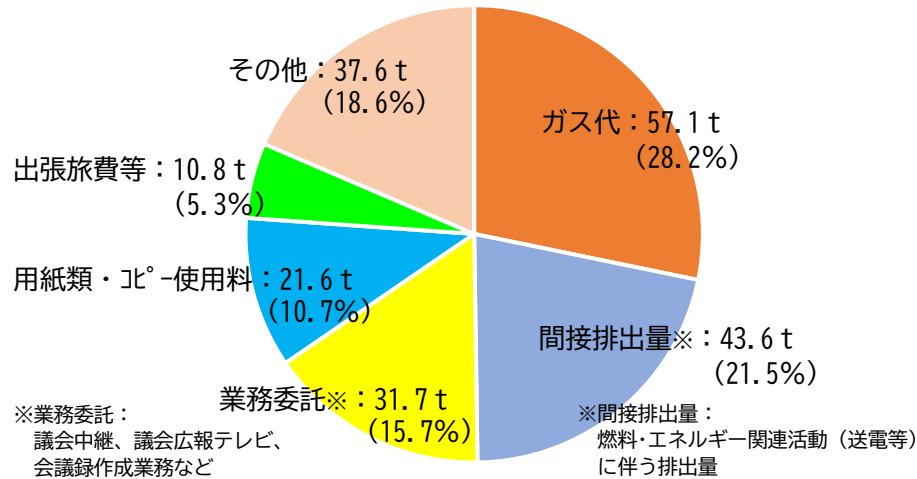
大阪府では、2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すとともに、2025年大阪・関西万博はSDGs達成への貢献を目標に掲げています。万博の成功を目指す大阪府議会としてもカーボンニュートル社会の実現に向け率先して取り組むため、議会における二酸化炭素排出量の見える化を実施しています。昨年度に引き続き、大阪府議会が年間どれだけの二酸化炭素を排出しているのか、令和3年度決算額をもとに算出しました。この結果を踏まえ、府議会としても取組みを継続していきます。

この見える化は、公民連携により脱炭素社会の実現に取り組むことを目的に設立された「OSAKA ゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション(OZCaF)」にご協力いただき、会計データよりCO2排出量を計測する「ファストカーボン」により算出しました。

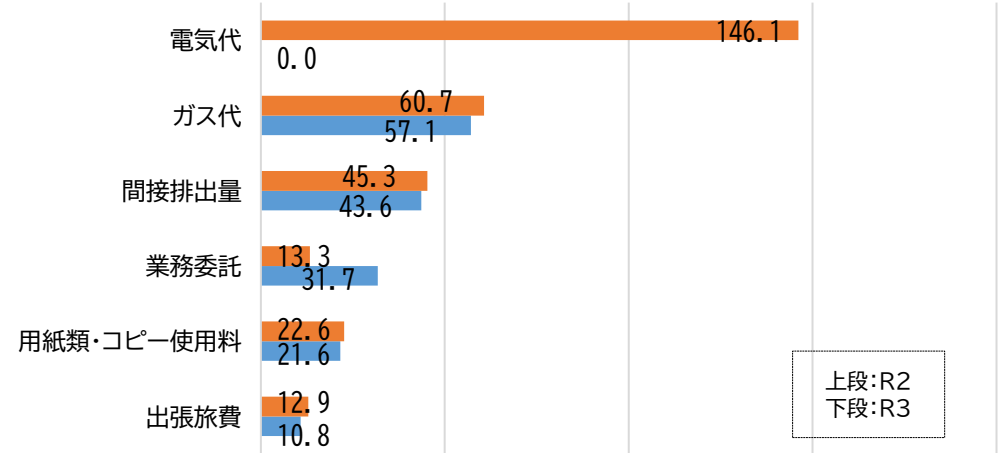


令和3年度(2021年度) 二酸化炭素排出量 : 202.4t <参考> 令和2年度(2020年度) 排出量:343.4t

■主な経費の排出量と割合



■令和2年度との比較



## 《令和3年度 二酸化炭素排出量の算出結果について》

- 全体の4割強を占めていた電気の使用に伴う排出量が、令和3年度より再生可能エネルギー100%電気になったことに伴いゼロとなり、排出量全体として大きく減少しました。
- また、ガス代、燃料・エネルギー関連活動に伴う間接排出量、出張旅費等は、やや減少となっています。
- 一方、令和2年度はコロナ対策の影響で休止していた事業の実施再開に伴い、業務委託が増加しています。
- 用紙類・コピー使用料はやや減少ですが、令和4年度より実施している議会資料の完全ペーパーレス化による効果が次年度より反映される見込みです。ペーパーレス化は、議会として努力できる部分であり、今後も継続した取組みを実施していきます。

## 《府議会における主な取組み（継続した取組みを含む）》

- ▶ 議会資料の完全ペーパーレス化（R4・R5）  
⇒議案書等の電子化に加え、原則すべての議会資料をペーパーレス化
- ▶ 議場氏名標の木製化（R5.4月）  
⇒改選期に合わせ、大阪産木材を使用した氏名標に変更
- ▶ 議員徽章（略章）の木製化（R5.4月交付分より）
- ▶ 議員・会派の取組み  
⇒会議資料のペーパーレス化、会議でのマイボトル携行など

